

# 「スーとってバン」

2017年9月15日

陸上男子短距離の桐生祥(よし)秀(ひで)(21)=東洋大=が9日、福井・福井運動公園陸上競技場で行われた日本学生対校選手権100メートル決勝で、9秒98の日本新記録をマークした。

日本選手が100メートルで10秒の壁を破ったのは史上初めて。伊東浩司(当時・富士通)が1998年12月のアジア大会(バンコク)準決勝で出した日本記録10秒00(追い風1・9メートル)を18年7カ月ぶりに更新した。



桐生選手は100mを走ることを「スーとってバン」と表現しています。

■「スー」とは上下動にぶれない走り！スムーズに加速する！・・・などをイメージしているものと推測されます。

■「バン」はフィニッシュ

これまで9秒台は9秒58の世界記録を持つウサイン・ボルト(ジャマイカ)を筆頭に黒人選手が大半を占めており、9秒91のアジア記録保持者のフェミセウン・オグノデ(カタール)もナイジェリア出身だ。東アジアでは、桐生が蘇炳添(中国、9秒99)に続く2人目の10秒突破となった。

条件は異なるが、桐生の9秒98は、昨夏のリオデジャネイロ五輪なら決勝進出に相当するタイムで、2020年東京五輪ファイナリストへの期待が膨らみます。

なぜ、ハンマー投げ・室伏広治は「ンガーッ」と叫ぶのか？卓球・愛ちゃんの「サー」には意味があるのか？  
トップアスリート(一流選手)ほど、試合中に「声」を出します。  
実は、スポーツ時に「声」を出すことで、よい成績が期待できるのです。

## 卓球、愛ちゃんの「サー」、張本選手の「チョレイ」の雄たけび！

卓球の愛ちゃんの「サー」と同じく、13歳で国際試合に優勝した時の人、張本選手のおたけび「チョレイ」には言葉に意味があるわけではないんです」

「勝ちたい時や点数を取った時に、大きな声を出すことで自信がついたんです。」

福原愛ちゃんが言ってる「サー！」は自分の気持ちを落ち着かせる自己暗示の言葉なのです。リラックス効果があるのです。

「サー」自身に特別の意味はありません。



専門家は「チョレイ」と雄たけびを発するのは、次に向けてのリラクゼーション効果(深呼吸効果)があると分析しています。

卓球女子のロンドン、リオデジャネイロ両五輪団体メダリストの福原愛(28)=ANA=が2017年6月29日、自身のブログで妊娠したことを発表した。関係者によると現在、安定期に入っており、自身の誕生日でもある11月上旬頃に出産を予定しているという。

福原はブログで、「小さな命が私たちのもとに来てくれたことをとてもうれしく思います。赤ちゃんに会えるまでの間しっかり勉強して準備したいと思います」などと喜びをつづった。

